

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
龍馬看護ふくし専門学校	平成8年3月19日	岡田 健	〒780-0056 高知県高知市北本町1-5-3 (電話) 088-825-1800				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人龍馬学園	平成1年3月23日	佐竹 新市	〒780-0056 高知県高知市北本町1-12-6 (電話) 088-825-0077				
目的	子ども未来学科では、保育に関する専門知識を学びながら、保育所・幼稚園・養護施設等の実習を通して実践的技量を身に付け、即戦力となる人材として、子どもから慕われる質の高い保育士(幼稚園教諭)を養成する。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	子ども未来学科	平成27年 文部科学省告示第13号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010	975	105	450	0	480
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	49人	6人	28人	34人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・出席率			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月24日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月6日 ■春季:3月20日～4月10日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	進級:未修得科目2科目以内 出席日数 学費完納 卒業:修業年数の在籍 必履修科目全課程修了 出席日数 学費完納			
生徒指導	■クラス担任制: (有) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡 ガイダンス 保護者面談		課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会 遠足 人権着ぐるみ劇(ボランティア) ■サークル活動: (有)			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 保育所・社会福祉施設 ・幼稚園(認定こども園含む) ■就職率※1 17 : 17 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 18:17 94 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成29年3月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 平成27年4月1日時点において 在学者 52名 平成28年3月31日時点において 在学者 45名 ■中途退学の主な理由 進路変更 学力不足 意欲不足 経済的事情 ■中退防止のための取組 ガイダンス 三者面談		中途退学率	13.5 % (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)			
ホームページ	URL: http://www.ryoma.ac.jp/cmw/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係																															
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 子ども未来学科では、新しく変化している社会状況の中で、保育所・幼稚園・社会福祉施設等の実習を通して、現場に適應できる専門知識を持ち、時代に即した実践的技量を発揮して、子どもの福祉と教育に携わることのできる質の高い保育士・幼稚園教諭を養成する。																															
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 別添「龍馬看護ふくし専門学校組織規程」のとおり、教育課程編成委員会(以下「委員会」という。)は、校長直轄の組織として設置しており、カリキュラム改善に対する意見を企業等の役職者及び有識者から聴取し、これを基に、校長以下、各学科の担当でカリキュラムの改善策について検討し、次年度に向け改善を図っていくこととしている。																															
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成28年4月1日現在																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岡田 健</td> <td>龍馬看護ふくし専門学校 校長</td> <td>2年</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>公文 泰子</td> <td>龍馬看護ふくし専門学校 副校長</td> <td>2年</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>栗田 三保</td> <td>龍馬看護ふくし専門学校 教務部長</td> <td>2年</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>野島 麻美</td> <td>龍馬看護ふくし専門学校 子ども未来学科課長</td> <td>2年</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>美崎 有紀</td> <td>幼保連携型認定こども園 桜井幼稚園 園長</td> <td>2年</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>高野 隆司</td> <td>地域活動支援センター「香美」南園 管理者</td> <td>2年</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table>				名前	所属	任期	種別	岡田 健	龍馬看護ふくし専門学校 校長	2年	③	公文 泰子	龍馬看護ふくし専門学校 副校長	2年	③	栗田 三保	龍馬看護ふくし専門学校 教務部長	2年	③	野島 麻美	龍馬看護ふくし専門学校 子ども未来学科課長	2年	③	美崎 有紀	幼保連携型認定こども園 桜井幼稚園 園長	2年	③	高野 隆司	地域活動支援センター「香美」南園 管理者	2年	②
名前	所属	任期	種別																												
岡田 健	龍馬看護ふくし専門学校 校長	2年	③																												
公文 泰子	龍馬看護ふくし専門学校 副校長	2年	③																												
栗田 三保	龍馬看護ふくし専門学校 教務部長	2年	③																												
野島 麻美	龍馬看護ふくし専門学校 子ども未来学科課長	2年	③																												
美崎 有紀	幼保連携型認定こども園 桜井幼稚園 園長	2年	③																												
高野 隆司	地域活動支援センター「香美」南園 管理者	2年	②																												
<p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>																															
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 年度に2回開催する。 (開催日時) 平成27年度 第1回 平成27年9月10日 11:20～12:20 第2回 平成28年2月25日 15:00～16:00 平成28年度 第1回 平成28年9月8日 13:30～14:30 第2回 平成29年2月23日 15:00～16:00																															
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 教育課程編成委員会における意見を受け、接遇(社会人として求められる心構えや基本的なビジネスマナーを身に付ける)のシラバスを見直し、社会人としての心構えを態度・マナーだけでなく、精神面の強さや、高まりが身に付けられるよう授業を改善していく。また、保育実習指導Ⅰ①②、教育実習指導における教育課程を見直し、1年次2年次と一貫した指導を行い、苦手とされる指導案作成の技能を高めた。																															
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係																															
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 保育(教育)方針に基づいた保育(教育)活動に触れることで、保育所(幼稚園)の実情を把握し、乳幼児に関する理解を深め保育者に必要な基礎力を付けさせる。また、学校で学んできた知識・理論を実際の保育現場で実践することにより実践を通して指導技術を身に付け、保育士(幼稚園教諭)としての使命感と資質を高める。																															
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 保育活動の理解を目的とし、保育活動の展開、乳幼児の実態、保育士の職務や役割を学ばせるために:見学実習:観察実習:参加実習:部分実習:全日実習を体験させる。また、計画を立てて研究保育も実施させ指導技術力を身に付けさせる。 また、実習巡回指導時における企業の方の意見を、学生に伝えるとともに指導・改善を促し、実習・演習終了後は反省会を持っていただき、次へつなげている。																															
(3)具体的な連携の例																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育実習Ⅰ①</td> <td>授業で学習してきた保育の理論や技術を基にして、実際に保育の現場に出て保育を経験することによって、それらが保育の実践と具体的にどのようにつながるかを体験し、保育技術の体得・向上自分なりの保育観を確立していくために行う。</td> <td>福井保育園 旭ヶ丘保育園 江ノ口保育園 旭保育園 神田みどり保育園 総数(18園)</td> </tr> <tr> <td>保育実習Ⅰ②</td> <td>施設実習は、その習得した科目全体の知識・技能を基礎としこれらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童(利用者)に対する直接的な働きかけを通じて、保育の理論と実践の関係について習熟することを目的としている。</td> <td>子供の家 愛仁園 若草園 さくら園 高知聖園ベビーホーム 総数(10園)</td> </tr> <tr> <td>教育実習</td> <td>幼児や教師たちと生活を共にすることで、幼児や保育に関する知識をより確かなものにし、同時に教師の仕事について具体的に理解することを目的とする。</td> <td>杉の子幼稚園 みかづき第二幼稚園 高知聖母幼稚園 清和幼稚園 もみのき幼稚園 総数(15園)</td> </tr> <tr> <td>保育実習Ⅱ</td> <td>授業で学習してきた保育の理論や技術を基にして、実際に保育の現場に出て保育を経験することによって、それらが保育の実践と具体的にどのようにつながるかを体験し、保育技術の体得・向上自分なりの保育観を確立していくために行う。</td> <td>一ツ橋保育園 愛育会保育園 たかしろ乳児保育園 潮江双葉園 一宮保育園 総数(16園)</td> </tr> </tbody> </table>				科目名	科目概要	連携企業等	保育実習Ⅰ①	授業で学習してきた保育の理論や技術を基にして、実際に保育の現場に出て保育を経験することによって、それらが保育の実践と具体的にどのようにつながるかを体験し、保育技術の体得・向上自分なりの保育観を確立していくために行う。	福井保育園 旭ヶ丘保育園 江ノ口保育園 旭保育園 神田みどり保育園 総数(18園)	保育実習Ⅰ②	施設実習は、その習得した科目全体の知識・技能を基礎としこれらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童(利用者)に対する直接的な働きかけを通じて、保育の理論と実践の関係について習熟することを目的としている。	子供の家 愛仁園 若草園 さくら園 高知聖園ベビーホーム 総数(10園)	教育実習	幼児や教師たちと生活を共にすることで、幼児や保育に関する知識をより確かなものにし、同時に教師の仕事について具体的に理解することを目的とする。	杉の子幼稚園 みかづき第二幼稚園 高知聖母幼稚園 清和幼稚園 もみのき幼稚園 総数(15園)	保育実習Ⅱ	授業で学習してきた保育の理論や技術を基にして、実際に保育の現場に出て保育を経験することによって、それらが保育の実践と具体的にどのようにつながるかを体験し、保育技術の体得・向上自分なりの保育観を確立していくために行う。	一ツ橋保育園 愛育会保育園 たかしろ乳児保育園 潮江双葉園 一宮保育園 総数(16園)													
科目名	科目概要	連携企業等																													
保育実習Ⅰ①	授業で学習してきた保育の理論や技術を基にして、実際に保育の現場に出て保育を経験することによって、それらが保育の実践と具体的にどのようにつながるかを体験し、保育技術の体得・向上自分なりの保育観を確立していくために行う。	福井保育園 旭ヶ丘保育園 江ノ口保育園 旭保育園 神田みどり保育園 総数(18園)																													
保育実習Ⅰ②	施設実習は、その習得した科目全体の知識・技能を基礎としこれらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童(利用者)に対する直接的な働きかけを通じて、保育の理論と実践の関係について習熟することを目的としている。	子供の家 愛仁園 若草園 さくら園 高知聖園ベビーホーム 総数(10園)																													
教育実習	幼児や教師たちと生活を共にすることで、幼児や保育に関する知識をより確かなものにし、同時に教師の仕事について具体的に理解することを目的とする。	杉の子幼稚園 みかづき第二幼稚園 高知聖母幼稚園 清和幼稚園 もみのき幼稚園 総数(15園)																													
保育実習Ⅱ	授業で学習してきた保育の理論や技術を基にして、実際に保育の現場に出て保育を経験することによって、それらが保育の実践と具体的にどのようにつながるかを体験し、保育技術の体得・向上自分なりの保育観を確立していくために行う。	一ツ橋保育園 愛育会保育園 たかしろ乳児保育園 潮江双葉園 一宮保育園 総数(16園)																													
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係																															
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 現在もしくは将来就職職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、能力及び資質などの向上を図ることを目的とした研修をさせる。 研修の種類:新任者研修 管理職研修 各専門分野別養成研修																															

<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等 H27年9月12日 全国認定こども園協会 中四国地区地域活性化研修会 H27年9月16日～18日 第12回西日本児童養護施設職員セミナー高知大会 H27年11月15日 高知県保育研究集会</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等 H27年7月27日～28日 夏期音楽研修会 音楽基礎理論＜I 楽典＞講座 H27年8月3日～4日 保育セミナー2015</p> <p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等 H28年11月4日 近畿大学九州短期大学連携校研修会 H28年11月 高知県保育研究集会 H29年3月 龍馬学園教職員研修会</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等 H28年7月29日～30日 夏期音楽講習会 H28年12月3日 教育の最新事情</p>
--

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
龍馬学園ミッションである「高度な職業教育を通して、専門知識と人間性豊かな地域・国家・国際社会に貢献する人材を育成する」という教育理念のもと、本校教育指針(別添参考Ⅰ)、さらに各学科の学習指導方針(別添参考Ⅱ)を立て、その具体化に向け取り組んでいく。
その取り組みの中で、教育水準の向上を図り、設立精神の目的及び社会的使命を達成するため、本校の教育活動の状況について、自ら点検及び評価を行うとともに、企業等にも学校関係者として評価に参画してもらい、その評価結果を教育活動その他の学校運営の改善等に生かしていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	【抜粋(別紙参照)】 1. 学生に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等) 2. 教職員に対して教育理念を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等) 3. 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)
(2) 学校運営	【抜粋(別紙参照)】 1. 組織機能図があるか。 2. 学校の年間スケジュールはあるか。 3. 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。
(3) 教育活動	【抜粋(別紙参照)】 1. 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。 2. カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等) 3. カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員を入れているか。
(4) 学修成果	【抜粋(別紙参照)】 1. 学生の就職に関する目標を設定したか。 2. 学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。 3. 学生の就職活動に関する記録がなされているか。
(5) 学生支援	【抜粋(別紙参照)】 1. 入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。 2. 入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。 3. 担任による面談が定期的に行われているか。
(6) 教育環境	【抜粋(別紙参照)】 1. 図書室・図書コーナー等があるか。 2. 学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。 3. 就職支援を行う指定された場所があるか。
(7) 学生の受入れ募集	【抜粋(別紙参照)】 1. 学校案内等には育成人材像が明示されているか。 2. 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。 3. 学校案内等には学費・材料費等が明示されているか。
(8) 財務	【抜粋(別紙参照)】 1. 年度予算、中期計画が策定されているか。 2. 予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。 3. 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。

(9) 法令等の遵守	【抜粋(別紙参照)】 1. 定期的に防災訓練を実施しているか。 2. 個人情報保護規程が文書化されているか。 3. ハラスメントに関する規定が文書化されているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	【抜粋別紙参照】 1. 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。 2. 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。 3. 上記において定期的な会合に参加しているか。
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

本校の教育活動の状況について、企業等にも学校関係者として評価に参画してもらい、その評価結果を教育活動その他の学校運営の改善等にかかしていくことを目的として、2月25日、学校関係者評価委員会を実施した。

(企業からの意見)

1 保育学科の卒業生が毎年行っている卒業発表はとても素晴らしく、観に行った幼稚園の保護者達も感動したと褒めていた。今後もぜひ続けて頑張してほしい。

対応策

今年子ども未来学科は2年間で卒業なので、保育学科のような大掛かりな卒業発表は出来ないが、それに代わる卒業発表会として、合唱と実習の報告会を行った。保育学科は、今後もミュージカルを続けていくが、子ども未来学科も一期生に負けない卒業発表をやらせることにする。

2 退学者を食い止める方法はないだろうか。せつかく入学しても退学するのは、残念に思う。

対応策

年々、新入生のタイプが違っているのが現実である。学生への指導も毎年違った方法で実施しなければならない。今は、学生に話をだけでなく、保護者も含めて、話し合いやガイダンスをして、退学者を食い止めるようにしている。入学する前にその学科について十分な知識を与えるように努める。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
山中 美智子	愛宕病院 看護部長	2年	企業等委員
児玉 富貴子	学校法人やまもも学園 芸術学園幼稚園 園長	2年	企業等委員
明神 聡	高知厚生病院 事務部長	2年	卒業生
弘嶋 謙二	特定非営利活動法人 児童・障がい児(者)相談支援ネットワーク高知 理事	2年	有識者
西森 康夫	にしもり薬局 代表	2年	企業等委員
美崎 有紀	幼保連携型 認定こども園 桜井幼稚園 園長	2年	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他()) 公表時期:平成28年4月1日

URL: <http://www.ryoma.ac.jp/cmw/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と密接かつ組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を学生に提供することを目的として、企業等の学校関係者に対して、学校の教育活動、その他学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学園概要、学校紹介、校訓(校長挨拶)
(2) 各学科等の教育	学科紹介・概要(目指す仕事・目標資格・年間スケジュール等)
(3) 教職員	教員名簿
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職指導、就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	キャンパスライフ、施設・設備
(6) 学生の生活支援	龍馬学園奨学金、さくら奨学金、学園指定・推薦ワンルームマンション
(7) 学生納付金・修学支援	入学金・学費、学費サポート(特待生制度・各種奨学金制度)
(8) 学校の財務	財務情報の公開に関する取扱要領
(9) 学校評価	自己点検評価結果・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.ryoma.ac.jp/cmw/>